

10月22日(土)

運営委員会・評議員会

一般演題(寄生虫3題、衛働6題)

特別講演2題

12:00-13:20 運営委員会 および 評議員会

13:25-13:30 開会挨拶 および 事務局からの連絡

13:30-14:00 座長: 波部 重久(福岡大・医・微生物・免疫学)

寄生1 ラオスにおける肺吸虫の種類

○波部重久¹、中村 哲²、Tran Duc Si³、Duong Veasna³、Peter Odermatt³(¹福岡大・医・微生物・免疫学、²国立国際医療センター研究所、³Institute Francophone de Medicine Tropicale, Vientiane)

寄生2 佐賀県で発生した肺吸虫による食中毒について

○中村(内山) ふうみ、廣松賢治、名和行文(宮崎大・医・寄生虫学)

寄生3 スナネズミに麻痺性イレウスを引き起こす *Strongyloides papillosus* 虫体由来物質

○加治佐 誠、三谷 亜利子、上江州 浩一、杉山 祐一郎、羽迫 広人、堀井 洋一郎(宮崎大・農・獣医内科学)

14:00-14:30 座長: 三森 龍之(熊本大・医・腫瘍医学)

衛働1 大分県におけるブユ成虫のフィラリア幼虫自然感染(予報)

○福田 昌子^{1,2}、青木 千春²、高岡 宏行^{1,2}(¹大分大・総合科学研究支援センター、²大分大・医・感染予防医学)

衛働2 那覇空港区域におけるネズミの広東住血線虫感染について過去25年間の消長

○楠井 善久¹、佐久本 微笑²、西山 裕淑¹、伊芸 英敏³、阿部 重人²(¹那覇検疫所那覇空港検疫支所、²那覇検疫所、³広島検疫所)

衛働3 ハブ毒による筋細胞死の組織学的・生化学的研究

○倉園 友江、猪八重 亜妃、溝口 典子、水上 惟文
(鹿児島大・医・保健学科・地域看護・看護情報学講座)

14:30-15:00 座長：川田 均（長崎大・熱帯医学研究所）

衛動4 無吸血産卵性イナトミシオカの継代飼育について

○加藤 幸太郎¹, 水田 英生², 上田 泰史², 多森 直樹¹, 岡田 貴志¹, 東原 絢子¹, Hamady Dieng¹, 江下 優樹¹ (¹大分大・医・感染予防, ²大阪検疫所)

衛動5 Interspecific variation of diving activities between *Anopheles gambiae* Giles, *Anopheles arabiensis* Patton, and *Anopheles funestus* Giles (Diptera: Culicidae) larvae

○Tuno N.¹ and Yan G.² (¹Nagasaki Univ., ²SUNY at Buffalo, USA.)

衛動6 昆虫成長制御剤を添加した水質浄化ブロック製剤「エコバイオブロック[®] S」の水質浄化作用と蚊幼虫に対する羽化阻害効果

○川田 均¹・才田 進²・島袋 梢¹・平野雅親²・古賀雅之³・岩下智明⁴・高木正洋¹
(¹長崎大・熱帯医学研究所、²シントーファイン株式会社、³コヨウ株式会社、⁴株式会社ビッグバイオ)

15:00-15:10 休憩

15:10-16:00 特別講演1 座長：名和 行文（宮崎大・医・感染症学・寄生虫病学）

T cell-enterocyte interactions revealed by the immunobiology of coccidiosis
Adrian L. Smith (Institute for Animal health, Compton, UK)

16:00-16:50 特別講演2 座長：高岡 宏行（大分大・医・感染分子病態制御）

家畜の生息環境と昆虫類

倉持 勝久（帯広畜産大・畜産科学科・環境昆虫学）

19:00- 懇親会（ホテルメリージュ3F ラウンジ・アバ）

10月23日(日)

一般演題(寄生虫6題、衛動9題)

総会

9:00-9:30 座長:久枝 一(九州大・医学研究院・感染免疫熱帯医学分野)

寄生4 日本住血吸虫 thioredoxin peroxidase の組織内発現分布

○熊谷 貴、長田 良雄、金澤 保(産業医大・医・寄生虫学熱帯医学)

寄生5 住血吸虫のマウス関節炎に対する影響

○長田 良雄、熊谷 貴、金澤 保(産業医大・医・寄生虫学熱帯医学)

寄生6 イヌ回虫、ブタ回虫幼虫移行症のブタ回虫由来糖脂質抗原認識による鑑別

○廣松 賢治、鈴木 朝日、中村(内山) ふうみ、名和 行文(宮崎大・医・寄生虫学)

9:30-10:00 座長:野田 伸一(鹿児島大・多島圏研究センター)

衛動7 粘着式ライトトラップの捕獲能力に対するテープの色と粘着剤の影響

○荻野 和正、原 弘之、大園 右文(株サニックス・開発本部・研究所)

衛動8 インドネシア、スンバワ島南西部の移民村で採集したハマダラカ属について

○前川 芳秀¹⁾・砂原 俊彦¹⁾・神原 廣二¹⁾・上村 春樹¹⁾・Yoes Prijatna Dachlan²⁾・高木 正洋¹⁾

(長崎大・熱帯医学研究所、Airlangga University・TDC)

衛動9 沖縄本島における主として人家周辺での蚊成虫の捕獲成績(2003-2005年)

○當間 孝子¹⁾、比嘉 由紀子¹⁾、宮城 一郎¹⁾、澤部 京子²⁾(¹⁾琉球大・医学部・保健学科、²⁾国立感染症研究所・昆虫医科学部)

10:00-10:30 座長:當間 孝子(琉球大・医・保健学科)

衛動10 ミクロネシア連邦のヤップ島とウリシー環礁における蚊の採集成績

○野田 伸一¹⁾、Gilmatam, J.²⁾、荻野 和正³⁾、當間 孝子⁴⁾、宮城 一郎⁵⁾(¹⁾鹿大・多島圏研究センター、²⁾Department of health Services, Yap State Government, FSM、³⁾産業医大・寄生虫学・熱帯医学/サニックス、⁴⁾琉大・医学部保健学科、⁵⁾東南アジア・南太平洋蚊族研究室)

衛動11 九州西北部沿岸の樹洞のヤブカ;特にワタセヤブカの分布について

○水田 英生(大阪検疫所)

衛動 12 Body size variation: a long standing problem of life history evolution of mosquitoes and mosquito researchers
○Hamady Dieng and Yuki Eshita (Dept. of Infect. Dis. Cont., Facul. of Med., Oita Univ.)

10:30-10:40 休憩

10:40-11:10 座長：福間 利英（久留米大・医・寄生虫学）

寄生 7 肝細胞期・赤血球期共通に発現する新規マラリア抗原の同定と分離
○木村 大輔¹、都田 真奈¹、上田 正勝¹、本間 季里¹、伊藤 敬²、由井 克之¹（¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科免疫機能制御学分野、²生体分子解析学分野）

寄生 8 マウスマラリアにおける自然免疫レセプターを介した制御性T細胞の活性化
○久枝 一、姫野 國祐（九州大学医学研究院 感染免疫熱帯医学分野）

寄生 9 腸管寄生原虫感染における腸管上皮間 T リンパ球の上皮バリア恒常性維持の役割について — 細胞間結合分子を中心とした解析 —
○稲垣 匡子¹、堀井 洋一郎²、名和 行文¹（¹宮崎大・医・寄生虫、²宮崎大・農・獣医）

11:10-11:40 座長：江下 優樹（大分大・医・感染予防）

衛動 13 Genetic diversity of *Plasmodium falciparum* isolates from wild African malaria mosquitoes
○Kimani I¹, Temu EA¹, Minjas JN², Kawada H¹ and Takagi M¹（¹Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University Japan ²Muhimbili University College of Health Sciences, Dar es Salaam Tanzania）

衛動 14 *Aedes albopictus* の中腸トランスクリプトームの解析

○久富 祐人¹ 佐藤 朝光¹ 岩永 史朗² 伊澤 晴彦³ 宮田 健¹ 鹿志毛 信広¹ 見明 史雄¹
¹（¹福岡大学薬学部微生物薬品化学教室、²神戸大学農学部生物機能利用科学、³国立感染症研究所昆虫医科学部第二室）

衛動 15 新規高分子 DEAE-デキストラン共重合体を非ウイルス性遺伝子導入キャリアーとして用いた、培養細胞への外来遺伝子導入

○東原 絢子¹, 大西 靖彦², 水野 正明³, 吉田 純⁴, 多森 直樹¹, HamadyDieng¹,
加藤 幸太郎¹, 岡田 貴志¹, 江下 優樹¹ (¹大分大・医・感染予防, ²株・リユージュサイエンス, ³名古屋大・院・医・遺伝子治療, ⁴名古屋大・院・医・脳神経外科)

11:40-12:10 **総会**

12:10-12:15 **閉会挨拶**